

第3章 計画の推進にあたって

計画の推進にあたっては、現下の諸課題に的確に対応するため、各論に基づく着実な事業展開を図るとともに、本計画が目指す10年後の理想社会の将来像「住み慣れたまちで自分らしく生きる～高齢者にやさしい『わ』のまちひかり～」の実現に向けた、第1段階「ステージ1」として、基本戦略である「幸せ実感プロジェクト」の重点的な推進を目指します。

第1節 計画の推進

1 市民参加の促進

(1) 市民参加の促進

本計画の推進にあたっては、計画に基づく、各種の高齢者保健福祉施策及び介護保険事業を総合的に展開するとともに、「対話」「調和」「人の輪」の3つの「わ」を基本姿勢として、地域ぐるみの幅広い支援や支えあいの絆を広げることにより、市民の積極的な参加による地域福祉コミュニティの構築に取り組みます。

このため、介護保険制度をはじめとする保健福祉施策についての積極的かつ的確な情報提供に加え、ノーマライゼーション理念の普及やボランティア意識の高揚など、地域住民自らが地域社会を支えるという考え方の浸透に向けた広報・啓発活動を展開するとともに、市民の総参加による高齢者への支援体制の構築を目指します。

(2) 地域福祉活動の推進

すべての高齢者が安心して暮らすためには、充実したサービス提供に加え、地域での和や支えあいが不可欠です。ボランティアセンターを中心に、地域福祉を担うボランティアの人材の発掘、育成を展開し、それを促進するための支援機能を拡充します。

このため、平成24年3月に策定した「光市地域福祉計画・光市地域福祉活動計画」に基づき、各種地域活動のさらなる推進を図ります。

また、多くの人が高齢期に達し、超高齢社会の中で元気な高齢者が担う役割は、今後、ますます重要となってくることから、自主的・主体的な参加による様々な活動への支援を行うとともに、住民相互の支援システムとしてのネットワークづくりを促進します。

2 連携体制の強化

(1) 保健・医療・福祉の連携

超高齢社会を迎え、住み慣れた地域での暮らしを継続できるようにするためには、これまで以上に地域医療の重要性が高まります。

このため、かかりつけ医を中心とした在宅ケア体制の充実を図るとともに、今後の医療ニーズの多様化・高度化に対応し、総合的な医療サービスが提供できるよう、光市医師会、光市歯科医師会、光市薬剤師会等との連携を強化し、包括的に地域医療との連携体制の拡充を目指します。

また、状態に応じたサービスを提供することに加え、その人の状態の変化に合わせて連続性のあるサービスを提供することが課題となっています。

このため、地域包括支援センターを中核として、介護保険サービスに加えて、医療、福祉など様々な関係者が常に連携し、常に的確な対応を取ることができるよう、関係者の資質の向上や相互連携の強化の推進に努め、総合的なサービス提供体制を構築するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた関係機関との連携の強化を図ります。

(2) 高齢者保健福祉ニーズへの総合的な対応

総合福祉センター「あいばーく光」では、保健・医療・福祉に亘る多様なサービスを、高齢者支援課・健康増進課及び光市社会福祉協議会との連携に加え、各地域の関係機関と連携をとりながら、総合的な相談・指導を展開することで、適切なサービス提供に努めています。

今後も、個々の高齢者の状態に則したサービスのコーディネートや、多様かつ高度化するニーズに適切に対応できるよう、保健・医療・福祉の連携にとどまらず、高齢者が安心して生活できるよう、生活全般において総合的に支援できるよう、各種関係機関との連携の強化を図ります。



第2節 計画の点検・検証

計画の着実な推進を図るためには、計画の進捗状況や実施上の課題等を点検・検証し、次の改善行動に繋げていく、いわゆるPDCAサイクルに基づく、効果的かつ効率的な計画の推進を図ることが必要です。

特に、本計画については、10年後の将来像の実現に向けて、「ステージ1」から「ステージ3」まで、3年毎の中期計画に基づき段階的に展開する複層的な構造としていることから、中期計画において個々の進捗状況を点検チェックする第5期計画における個別事業・施策の「メンテナンス」を毎年度実施するとともに、次期計画策定に向けた「計画リニューアル」として、3年後を目途に、重点戦略等についていわゆる政策的マネジメント・サイクルを設定し、第5期計画全体の検証と点検を行います。

1 第5期計画のメンテナンス（改善行動）

計画に掲げる個別事業やサービスについて、目標の達成状況や成果・課題を踏まえ、毎年度、検証を加え、事業効果等を勘案しつつ、適宜、施策や事業の見直しを行うことにより、より効果的な事業展開を目指します。

2 計画のリニューアル（進化行動）

3年次目となる平成26年度において、長期展望の実現に向けて、「ステージ1」となる第5期計画の進捗について検証するとともに、特に、3つの幸せ実感プロジェクトの達成状況等について、政策的な観点からの評価・検証を行います。

また、社会保障制度を取り巻く環境が極めて厳しく、制度の骨格も含めた論議が続く中、将来像の着実な実現に向けて、計画の検証とともに、国の制度や社会経済情勢の変化、さらには市民ニーズに的確に対応するため、プロジェクト等のリニューアルを含め、第6期計画の策定を進めます。

※「改善行動」及び「進化行動」は6頁参照

3 計画の点検・検証体制

計画の点検と検証にあたっては、外部からのチェック体制として「光市高齢者保健福祉計画等策定市民協議会」や「光市地域包括支援センター運営協議会」、「光市地域密着型サービス運営委員会」において、計画の進捗状況や施策の効果を点検・検証することにより、真に実効性のある高齢者保健福祉施策を推進します。

また、市民参加と開かれた市政を推進する観点から、計画の概要や進捗状況について、市民への情報提供を行い、制度等への市民理解の向上と高齢者を支援する活動への市民参加を促進するとともに、市民ニーズに基づく計画の推進に努めます。

